

登録コード:MH136100 開講年度:2026		授業科目区分	専攻専門科目	選択
科目名	ヒューマンセクシュアリティ【20M～24M】 Human Sexuality			
担当教員	中込 さと子 金井 誠			
対象専攻/学年、講義期間、曜日・時限	看護学専攻／1年		後期	金曜・4時限
単位数、講義室	1単位	多目的講義室	遠隔授業科目	
信大コンピテンシー	該当			
授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素	⇔	授業の達成目標	
	MH20カリ・保健			
	生命を尊び、人間についての幅広い知識を身に付け、対象を全人的に理解して、人々の健康を支援することができる。	⇔	人間の性について多角的な視点から人間の尊厳を考究する。	
	文化の多様性を理解し、国際的視野に基づいた保健・医療活動の必要性とその方法を理解できる。	⇔	性を男女という二分法でなく生物的性、ジェンダー、性自認、性的志向から捉えなおす。	
	MH23カリ・保健・看護			
	≪基礎的・専門的な知識と技能≫看護専門職者に必要な幅広い教養と基礎的・専門的な知識・技能を修得し、さまざまな状況で活用できる。	⇔	人間の性について多角的な視点から人間の尊厳を考究する。	
授業で学べる「テーマ」	環境共生、多文化協働			
全学横断特別教育プログラム				
授業概要	人間の性について多角的な視点から考えることを通して、性を自分のこと＝あなたのこととしてとらえられる人間の育成を目指しています。性を男女という二分法ではなく、生物学的性、ジェンダー、性自認、性的志向から捉えなおし自分自身の価値観を再考することから、自己と異なる多様な価値観をも許容できる態度を培います。さらに避妊方法、性暴力、性感染症について健康教育の基礎となる知識を学びます。 本授業は、男女共同参画に関する内容を含んでいます。また、担当教員は、産婦人科医あるいは助産師としての実務経験を活かした講義をします。 本授業は、2年次からの保健学領域の専門科目と実習科目の基盤となります。			
授業計画	第1回 (10月 2日) Sexual & Reproductive Health (中込) 第2回 (10月 9日) Sexual & Reproductive Right (中込) 第3回 (10月16日) Identity with Sexuality (中込) 第4回 (10月23日) Guest Speaker① (中込) 第5回 (10月30日) Family Planning (中込) 第6回 (11月 6日) 国際包括的セクシュアリティ教育ガイダンスに関する発表（中間レポートの提出） 第7回 (11月20日) Gender Gap(中込) 第8回 (11月27日) Sexual Health／STI (金井) 第9回 (12月 4日) Sexual Health／HIV・AIDS (金井) 第10回 (12月11日) Sexual Health／Pregnancy (金井) 第11回 (12月18日) Sexual Health／Abortion (金井) 第12回 (12月25日) Literature Reviews (中込) 第13回 (1月 8日) Guest Speaker② (中込) 第14回 (1月15日) Voice Up (中込) 授業アンケートの実施 第15回 (1月22日) Human Sexuality and I レポート作成 (中込)			
授業の進め方	授業は、講義や小グループでのディスカッションをしながら進めます。 さらに講義の内容を深めるために、授業後に自身の考えをまとめてレポートとして提出してください。 講義の感想や意見をまとめ、授業終了後～1週間の間に提出してください。			
テキスト、教材、参考書	必携テキスト：無料で閲覧できるテキスト 国際セクシュアリティ教育ガイダンス https://unesdoc.unesco.org/ark:/48223/pf0000374167 信州大学図書館 OPAC（蔵書検索）を行い、書籍を読みましょう。 附属図書館のトップページからすぐに＜OPAC＞を利用できます。ぜひトライしてください。 蔵書検索の際のキーワードは、講義の中で頻回に用いられるワードで検索するとよいでしょう。			
成績評価の方法	期末レポートの結果に基づいて総合的に成績を評価します。 期末レポート テーマはSRHR、Sexual Health、Gender Gap、包括的セクシュアリティ教育に関することをから選んでください。 1）副題をつけて焦点を明確にしましょう。 2）レポートは、序論・本論・結論のスタイルで書きましょう。			

成績評価の方法	＜序論で論点を明確にし、本論で関連資料を分析し、結論でまとめましょう。＞ 3) 講義内容の報告ではなく、自分の言葉でA4版 2 枚(40字×40行)にまとめて提出してください。 引用文献・資料リストは3ページめにわたってもよいですが必ず作成してください。 上記の総合評価が60点未満は不可とします。
成績評価の基準	期末レポートの判定評価は、下記の通りとする。 90-100点：秀 80-89点：優 70-79点：良 60-69点：可とする。 (i)問題の設定が適切であり、(ii)その問題の背景を説明できており、(iii)その問題にどのような課題があるのかを指摘できており、(iv)それらの課題に対して既存の学説が提示する解決法が適切に把握できており、(v)そのうえで自分の見解を提示できており、かつ、(vi)教員を感心させるレベルにあれば、「卓越している(秀)」。(i)から(v)の5項目を満たしていれば「かなり上にある(優)」,4項目までできていれば「やや上にある(良)」。3項目までできていれば「水準にある(可)」
事前事後学習の内容	本授業の単位習得には45時間の学習が必要であるため、以下のような学習時間を必要とします。 授業時間30時間(2時間×15回)+自己学習時間15時間(1時間×15回)=45時間 リプロダクティブヘルス・ライツに関する社会問題は常に報道され、議論されています。授業を受けている期間、関心を高く持ってリプロダクティブヘルス・ライツの問題を考察しましょう。様々な考え方がありますが自身と異なる意見を否定することなく受け止めて捉えなおしてみましょう。そのようにして視野を広げていきましょう。
学生へのメッセージ並びに質問, 相談への対応	オムニバスで進みますが、どの担当の先生でも良いので、何かあれば相談してください。なお、中込のメールは以下のとおりです。(snakagomi@shinshu-u.ac.jp, makotok@shinshu-u.ac.jp) オフィスアワーは曜日を固定していません。メールでアポイントの連絡をください。個別に日時を合わせます。 担当教員の研究室は保健学科棟中校舎3階にあります。